

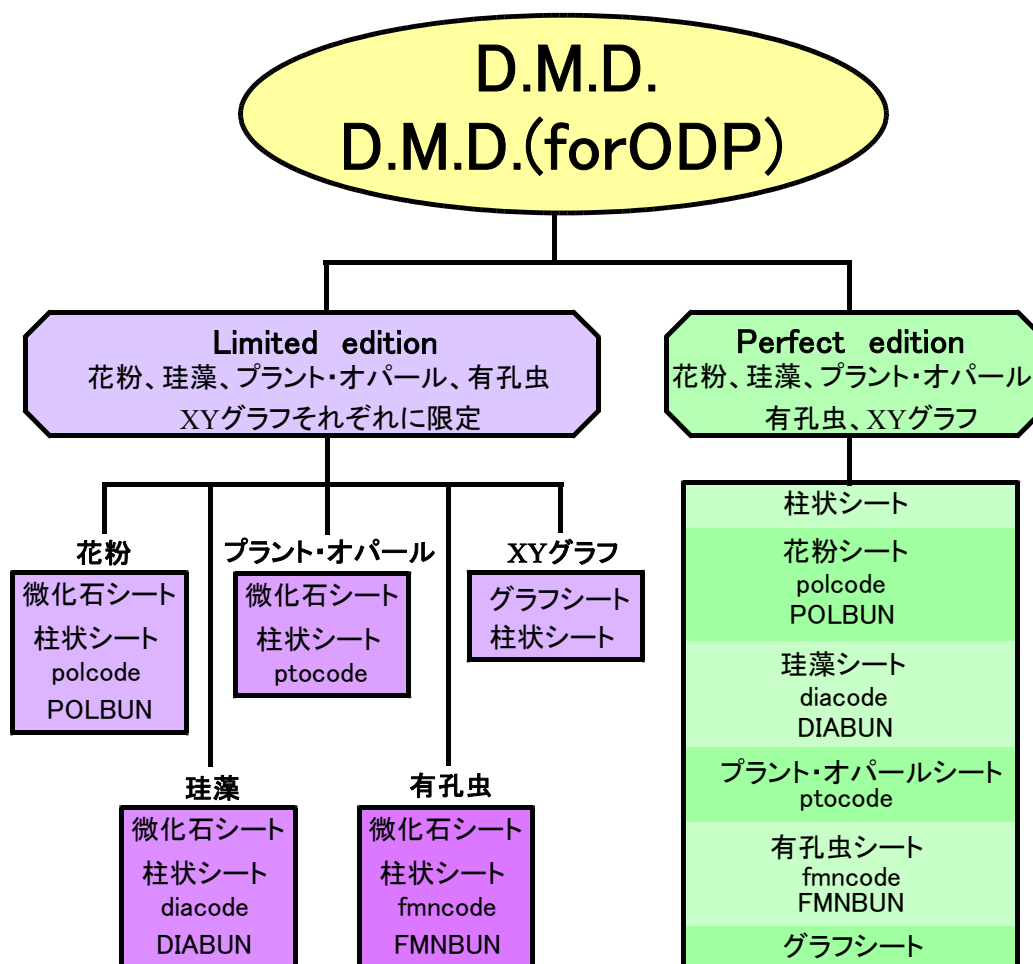
4. データシートの作成(一部「D.M.D.」、 「D.M.D. (for ODP)」 共通)

4- 1. マスターシート (ファイル) のシート構成の確認 (「D.M.D.」、 「D.M.D. (for ODP)」 共通)

機能限定版である Limited edition と、フル機能の Perfect edition では必要なシート構成が異なります。図 4- 1に従い、マスターシート (ファイル) から不要なシートを削除してください。

Limited edition では、柱状シート、微化石シート、コードシート、分類シート (花粉、珪藻、有孔虫用のみ) の各シートを使用します。マスターシート (ファイル) から不要なシートを削除してお使いください。

Perfect edition では、柱状シート、花粉シート、polcode、POLBUN、珪藻シート、diacode、DIABUN、プラント・オパールシート、ptocode、有孔虫シート、fmncode、FMNBUN、CHNSシートの各シートを使用します。Perfect edition でダイアグラムに対応するデータが5種類揃わない場合に、データの無いシートを削除しても正常に作動します。



* マスターシート(ファイル)には全てのシートが入っています。
不要なシートを消してお使い下さい。

図 4- 1 各 edition とシート構成

4- 2. 微化石データの入力(「D. M. D.」、 「D. M. D. (for ODP)」 共通)

Excelを立ち上げ“マスターシート(ファイル)”を開きます。

ダイアグラムを作成するには、各微化石の生データ入力用の「微化石シート」、各微化石に対応した基礎情報を入力しておく「コードシート」、「分類シート(花粉、珪藻、有孔虫のみ)」、柱状図の生データ入力用の「柱状シート(「D. M. D.」と「D. M. D. (for ODP)」では異なります。)」が必要です。

以下では、基礎情報入力用の「分類シート(花粉、珪藻、有孔虫のみ)」、「コードシート」の入力方法を説明した後、微化石の生データ入力用の「微化石シート」、柱状図の生データ入力用の「柱状シート(「D. M. D.」と「D. M. D. (for ODP)」では異なります。)」の入力方法を説明します。

4- 2- 1. 分類シート:「***BUN」の作成

分類シートは、花粉、珪藻、有孔虫のそれぞれに対応した別々のシートを作成します(プラント・オパールには分類シートはありません。)

Perfect edition では3種類の分類シートが全て必要です。

Limited edition では、お使いになる種類(花粉、珪藻・・・)の分類シートのみ作成してください。(プラント・オパールには分類シートはありません。)

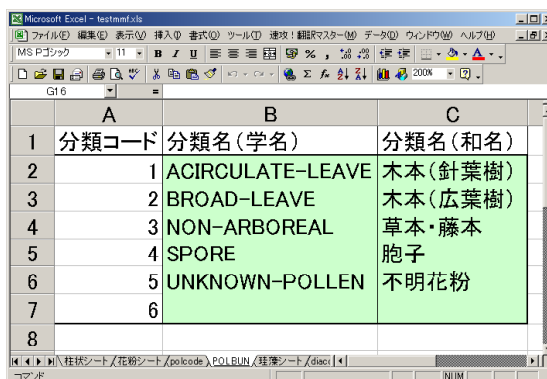
4- 2- 1- 1. POLBUN(花粉分類)シート

「分類名(学名)」、「分類名(和名)」に、それぞれに対応した分類名称を入れます(空欄が存在しても正常に作動します。)。斜体、スペースの使用も可能です。

「分類コード」は、後述の「polcodeシート」の「分類コード」に対応します。

<参考> ここで入力した「分類名」が、花粉ダイアグラムの総合ダイアグラム(総合ダイアグラムでは、分類コード毎に集計した累積百分率のグラフが描かれます。)

に凡例として書き込まれます。



	A	B	C
1	分類コード	分類名(学名)	分類名(和名)
2	1	ACIRCULATE-LEAVE	木本(針葉樹)
3	2	BROAD-LEAVE	木本(広葉樹)
4	3	NON-ARBOREAL	草本・藤本
5	4	SPORE	孢子
6	5	UNKNOWN-POLLEN	不明花粉
7	6		
8			

図 4- 2 「POLBUN」シート

4- 2- 1- 2. DIABUN (珪藻分類) シート

「区分名 (黄色のセル)」に、それぞれに対応した区分名 (たとえば、「生息域」、「塩分濃度」、…) を入れます。必要のない場合は空欄でも作動します。ただし、総合ダイアグラムを選択した場合には、5つの枠が出てきます。

「分類名 (黄緑色のセル)」に、それぞれに対応した分類名 (たとえば、「海産種」、「海一気」、…) を入れます。斜体、スペースの使用も可能です。セルが空欄でも正常に作動しますが、上に詰めてお使いください。

「分類コード」は、後述の「diacode シート」の該当欄に対応します。

<参考> 珪藻ダイアグラムの総合ダイアグラムでは、「DIABUN」、「diacode」の分類区分毎のグラフが描かれます。ここで「区分名 (黄色のセル)」、「分類名 (黄緑色のセル)」に入力した文字が、珪藻ダイアグラムの総合ダイアグラムに凡例として書き込まれます。

	A	B	C	D	E	F
1	分類コード	生息域	塩分濃度	pH	流水	生活
2	1	海産種	淡水好塩	酸性種	止水種	浮遊種
3	2	海一気	淡水不定	不定種	不定種	不定種
4	3	汽水産種	淡水嫌塩	アルカリ種	流水種	底生種
5	4	淡水産種	淡水不明	不明種	不明種	陸生種
6	5	不明種				不明種
7	6					
8						

図 4- 3 「DIABUN」シート

4- 2- 1- 3. FMNBUN (有孔虫分類) シート

「分類区分1~10 (黄色のセル)」に、それぞれに対応した区分名 (たとえば、生息域、殻の成分) を入れます (必要がなければ、「分類区分1~10 (黄色のセル)」の全てを埋める必要はありません。左に詰めてお使いください。)

「分類名 (黄緑色のセル)」に、それぞれに対応した分類名 (たとえば、「Abyssal」、「unknown」、…) を入れます。斜体、スペースの使用も可能です (「分類コード1~10」に対応する全てのセルを埋める必要はありませんが、上に詰めてお使いください。)

<参考1> 「分類コード」は、後述の「fmncode シート」の「分類区分1~10 (黄色のセル)」に対応します。「fmncode シート」に書き込みがあっても、この「分類区分1~10」に書き込みがない場合、ダイアグラムは書きません。

<参考2> 有孔虫ダイアグラムの総合ダイアグラムでは、「FMNBUN」、「fmncode」の分類区分毎のグラフが描かれます。ここで「区分名 (黄色のセル)」、「分類区分1~10 (黄色のセル)」に入力した文字が、有孔虫ダイアグラムの総合ダイアグラムに凡例として書き込まれます。

	A	B	C	D
1	分類コード	生息域	殻の成分	分類区分3
2	1	Abyssal	Agg.	
3	2	unknown	Calc. Porc.	
4	3	Neritic	Calc. Hyaline	
5	4			
6	5			
7	6			
8	7			
9	8			
10	9			
11	10			

図 4- 4 「FMNBUN」シート

4- 2- 2. コードシート: 「***code」の入力方法 (作成)

コードシートは、花粉、珪藻、プラント・オパール、有孔虫のそれぞれに対応して別々のものを作成します。

Perfect edition では4種類全て必要ですが、微化石 (花粉、珪藻・・) シートを使用しない場合には、対応するコードシートは不要です。

Limited edition では、お使いになる種類 (花粉、珪藻・・) のコードシートのみを作成してください。

4- 2- 2- 1. polcode (花粉コード) シート

図 4- 5に示した「polcode」シートのように、書き込みます。

「コードNo. (水色のセル)」に「1」～「99」までの任意の数を半角で入力します (番号の抜け、逆転も可能です)。

「学名 (黄色のセル)」には、半角英数字または半角カタカナで入力します。斜体、スペースの使用も可能です。

「和名 (黄色のセル)」では全角が使用できます (半角、斜体、スペースの使用も可能です)。対応する「学名」の横のセルに「和名」を入力してください。「学名」あるいは「和名」の必要がない場合には、空欄にしておくことも可能です。

「分類コード (黄緑色のセル)」には、「1」～「6」までの「POLBUN」シートに対応した数字を半角で入力します。

<参考> 花粉ダイアグラムの総合ダイアグラムでは、分類コードで入力した数字 (「1」～「6」) 毎に集計した累積百分率のグラフが描かれます。

コードNo.(1)	学名	和名	分類コード(1)
21	Cupressaceae	ヒノキ科	1
22	Podocarpus	マキ属	1
23	Taxaceae	イチイ科	1
24	GNETOPSIDA	グネツム綱	1
25			1
26			1
27			1
28			1
29			1
30			1
31			2
32			2
33			2
34			2
35			2
36			2
37			2
38			2
39			2
40			2
41			2
42			2
43			2
44			2
45			2
46			2
47			2
48			2
49			2
50	Alnus	ハンノキ属	2
51	Betula	カバノキ属	2
52	Cornus	クマシジロ属	2

分類コード	分類名(学名)	分類名(和名)
1	ACIRCULATE-LEAVE	木本(針葉樹)
2	BROAD-LEAVE	木本(広葉樹)
3	NON-ARBOREAL	草本・藤本
4	SPORE	孢子
5	UNKNOWN-POLLEN	不明花粉
6		

図 4- 5 「polcode」シートと「POLBUN」シート

4- 2- 2- 2. diacode (珪藻コード) シート

図 4- 6に示した「diacode」シートのように、書き込みます。

「コードNo. (黄緑色のセル)」に「1」～「999」までの任意の数を半角で入力します(番号の抜け、逆転も可能です)。

「学名 (属名)」、「学名 (種名)」の「黄色のセル」には、半角英数字または半角カタカナで入力します。斜体、スペースの使用も可能です。

「分類コード1~5 (水色のセル)」には、「1」～「6」までの「DIABUN」シートに対応した数字を半角で入力します。「分類コード1~5 (水色のセル)」を全て使用する必要はありません。必要のない場合は空欄でも作動します。ただし、総合ダイアグラムを選択した場合には、5つの枠が出てきます。

<参考>総合ダイアグラムでは、「1」～「6」のコード毎に集計した累積百分率のグラフが描かれます。「diacode (珪藻コード)」シートに「0」と「7」以上の数を入力した場合は空欄と見なし、百分率算出時の基数に含みません。

コードNo.	学名(属名)	学名(種名)	分類コード1	分類コード2	分類コード3	分類コード4	分類コード5(1~6)
215	300	<i>Dicillaria paradoxa</i>	4	4	4	4	3
216	305	<i>Caloneis aerophila</i>	4	4	4	4	3
217	307	<i>Caloneis amphibiaena</i>	4	4	4	4	3
218	309	<i>Caloneis bacillum</i>	4	2	3	3	3
219	310	<i>Caloneis caloneis</i>	4	4	4	4	4
220							4
221							4
222							2
223							2
224	1	分類コード	生息域	塩分濃度	pH	流水	生活
225	2	1	海産種	淡水好塩	中性種	止水種	浮遊種
227	3	2	海一帯	淡水不定	不定種	不定種	不定種
228	4	3	汽水産種	淡水嫌塩	アルカリ種	流水種	底生種
229	5	4	淡水産種	淡水不明	不明種	不明種	陸生種
230	6	5	不明種				不明種
231	7	6					不明種
232							1
233							1
234							1
235	350	<i>Cyclotella choctawhatcheeana</i>	4	4	4	4	1
236	357	<i>Cyclotella ellipica</i>	4	4	4	4	1
237	359	<i>Cymatopleura solea</i>	4	2	3	2	1
238	360	<i>Cymbella aequalis</i>	4	2	3	1	3

図 4- 6 「diacode」シートと「DIABUN」シート

4- 2- 2- 3. ptocode (プラントオパールコード) シート

図 4- 7に示した「ptocode」シートのように、書き込みます。

「コードNo. (水色のセル)」に「1」～「999」までの任意の数を半角で入力します(番号の抜け、逆転も可能です)。

「和名 (黄色のセル)」では全角が使用できます(半角、斜体、スペースの使用も可能です)。

「分類コード (黄緑色のセル)」は半角の数を入力します。

コードNo.	和名	分類コード(1を基数とする)
1	イネ科	1
2	イネ	1
3	オオムギ族	1
4	5	1
5	ヨシ属	1
6	8	1
7	シバ属	1
8	9	1
9	ヒエ属型	1
10	ウシクサ族	1
11	12	1
12	ウシクサ族A	1
13	14	1
14	ススキ属型	1
15	15	1
16	キビ属型	1
17	16	1
18	キビ族型	1
19	17	1
20	サヤヌカグサ属	1
21	18	1
22	モロコシ属型	1
23	15	1
24	50	1
25	タケ亜科	1
26	16	1
27	51	1
28	ネザサ節型	1

図 4- 7 「ptocode」シート

<参考> 図化する際に、分類コード「1」の種類を黒塗りの帯で、「1」ではない種類を白抜きの帯で表します。

4- 2- 2- 4. fmncode (有孔虫コード) シート

図 4- 8に示した「fmncode」シートのように、書き込みます。

「コードNo. (黄緑色のセル)」に「1」～「999」までの任意の数を半角で入力します (番号の抜け、逆転も可能です)。

「学名 (属名)」、「学名 (種名)」の「黄色のセル」には、半角英数字または半角カタカナで入力します。斜体、スペースの使用も可能です。

「分類コード (水色のセル)」には、「1」～「10」までの「FMNBUNシート」に対応した数字を半角で入力します。「分類区分1～10」を全て使用する必要はありませんが、必要のない場合は必ず削除してください。削除されない場合、不要な枠が描かれます。

<参考>総合ダイアグラムでは、「1」～「10」のコード毎に集計した累積百分率のグラフが描かれます。「fmncode (有孔虫コード)」シートに「0」と「11」以上の数を入力した場合は空欄と見なし、百分率算出時の基数に含みません。

コードNo.	学名(属名)	学名(種名)	分類区分1	分類区分2
1	<i>Ammobaculites</i>	spp.		
2	<i>Ammodiscus</i>	spp.		
3	<i>Ruhohaculites</i>	subrotundus		

分類コード	生息域	殻の成分	分類区分3
1	Abyssal	Agg.	
2	unknown	Calc. Porc.	
3	Neritic	Calc. Hyaline	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

図 4- 8 「fmncode」シートと「FMNBUN」シート